

個別の指導計画とは、支援を必要としている児童一人一人について、指導目標や内容、支援の方法、配慮事項などを示した計画です。教職員が共通理解するためのツールになり、同じ方向性で指導・支援することができます。また、日常的な支援の状況の記録にもなります。

個別の指導計画（参考様式）記入のポイント

小中学校 通常学級における個別の指導計画（例）

【前期用】	記入日	記入者
第○学年○組	児童生徒氏名	担任氏名
困っていることの実態	<p>記入しておきたい実態が多くある場合は、「実態把握シート」など、名称をつけて、別シートを作成する方法もあります。</p>	
長期目標	<p>1年間の目標を記入します。</p>	

	短期目標	支援方法	評価
学習・行動・対人関係等の目標	<p>例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○友達とけんかになったとき、相手をたたかないで、言葉で自分の気持ちを伝えることができる。 <p>○児童生徒の視点で記入（～する等） ○前期あるいは1学期など、短期の目標を記入 ○具体的な目標を、スモールステップで立てる</p>	<p>例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○イライラした感情をおさえる方法を知らせ、自分に合うものを見つけさせる。（深呼吸する、目をつむる） ○先生と一緒に、言葉で伝える練習をする。 ○1回でもできたことをほめ、自信をつけさせる。 <p>○教師の視点で記入（～を準備する等） ○具体的に計画</p>	<p>例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○休憩時間にいやなことがあったとき、友達に「やめて」と言うことができた。 ○深呼吸して気持ちを落ち着けている場面が見られ相手をたたくことが減った。 <p>○短期目標に対する評価を記入</p>

留意点

特別支援学級では、自立活動の個別の指導計画を作成することとなっており、上記の個別の指導計画とは形式の違うものとなります。

個別の指導計画の目標の立て方のポイント

ポイント	△の目標	○の目標へ
◆子ども主体の目標である	△・・・さんに～させたい	○・・・さんが～できる
◆肯定的な目標である	△～しない	○～できる
◆目標が一つにしぼられている	△計算でき、計算の仕方を発表することもできる	○計算できる
◆観察および評価可能な目標である	△作文が上手に書ける	○作文に「いつ」「どこで」が書ける
◆条件が示されている (どんなときに)	△～できる	○具体物を用いて考えたときに～できる
◆基準が示されている (何分、何割、何回など)	△2年生で学習する漢字が書ける △学習時間に、集中して取り組む	○2年生で学習する漢字の8割を書くことができる ○国語の学習時間に、15分間、集中して取り組む
◆子どもの強い力を利用してきている	△「運動会の作文が書ける」	○「写真を見て運動会を振り返りながら、作文を原稿用紙に1枚分書く」



- 「個別の指導計画の目標の立て方のポイント」は、東部教育局HP「特別支援教育の推進コーナー」に、掲載しています。ぜひご活用ください。
- この用紙を個別の指導計画等を綴る「個人ファイル」の表紙裏に貼っておきましょう。目標を立てる際に役立ちます。

<作成にあたって>

- 目標の立て方が適切であれば、児童生徒にとって有効な支援を検討することができます。また、評価もしやすくなります。「目標の立て方のポイント」を参考にしてください。
- 指導する内容をしぼり、簡潔に記載します。

<活用の方法>

- ケース会議をして目標や支援方法を検討したときは、個別の指導計画を作成または修正します。
- 立てた目標がなかなか達成できないときは、思い切って目標を見直したり、支援方法を変えたりすることも必要です。こまめなPDCAのサイクルを心がけます。
- 情報の引継ぎに有効に活用します。